

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 16日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県仲多度郡多度津町西港町8-3

氏 名 テーブルマーク株式会社 中央工場

工場長 栗原 史彦

電話番号 0877-32-6470



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

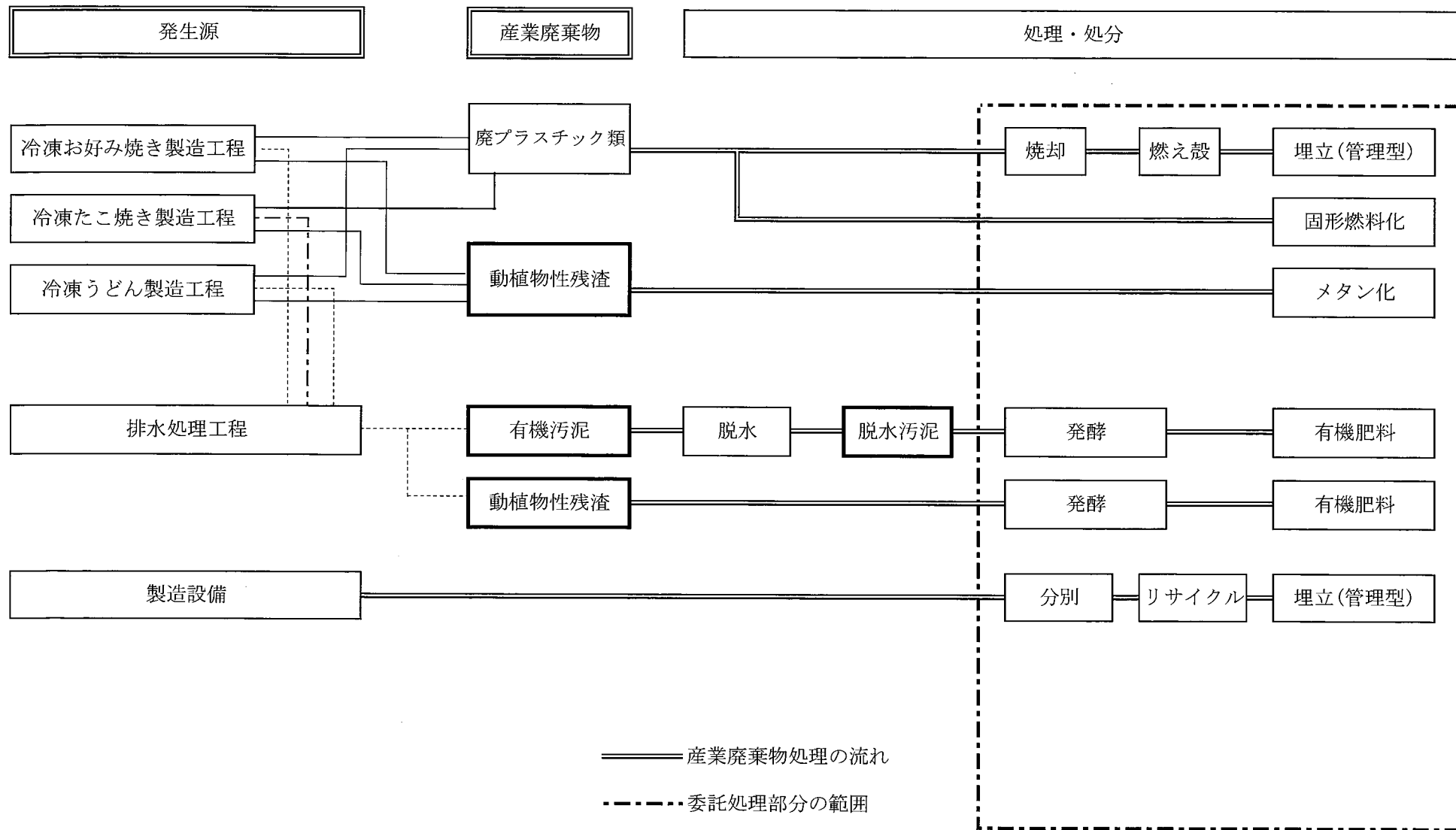
事業場の名称	テーブルマーク株式会社 中央工場
事業場の所在地	香川県仲多度郡多度津町西港町8-3
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	製造高 96億2000万円
③ 従業員数	235人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	該当

当該事業場において現に行っている事業に関する事項（第1面関係別紙）

④産業廃棄物の一連の処理の工程



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

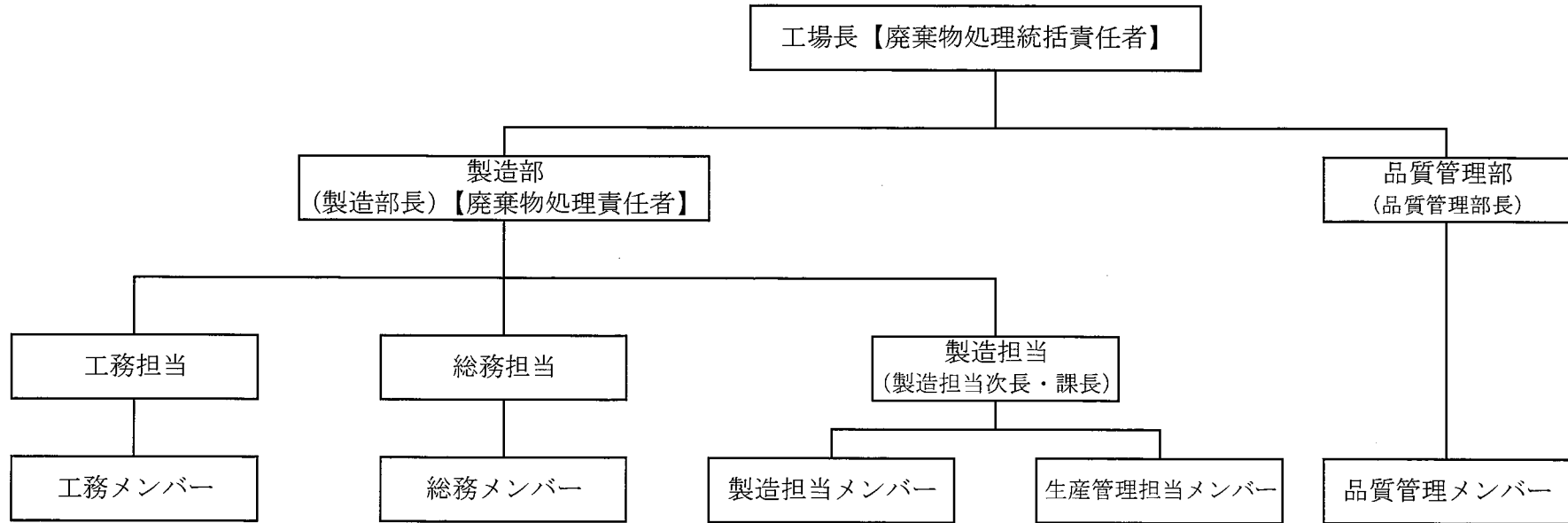
(管理体制図)  
別紙(2)のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成34年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	排出量	6,058.65	1,715.89	110.48	7.36	0.09			
	(これまでに実施した取組) ・汚泥については排水負荷に適した引抜き・脱水を行う。 ・動植物性残渣は粉碎・脱水することで総量を削減している。 ・バクテリアの注入を行い、汚泥の抑制を行っている								
②計画	【目標】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	排出量	5,500.00	1,500.00	100.00	5.00				
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥については排水負荷に適した引抜き・脱水を行う。 ・動植物性残渣や廃プラスチック類については定期的な製造ラインのメンテナンスを行い、大掛かりなトラブルを防ぐことにより発生を抑制する。								

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動植物性残渣や廃プラスチック類についてはその種類・形態に応じて分別しています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動植物性残渣や廃プラスチック類の再生利用ができるよう分別を更に強化し、ゼロエミッションを目指す。



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)									
		【目標】						単位:t	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の取組)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,846.92							
(これまでに実施した取組) ・汚泥脱水機の薬注量の調整により脱水率を向上させている									
		【目標】						単位:t	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4,400.00							
(今後実施する予定の取組) ・DO等モニタリング機器を増やし、排出量抑制に努めていく									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
	(これまでに実施した取組)							
		【目標】						単位:t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
	(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		
	全処理委託量	1,211.73	1,715.89	110.48	7.36	0.09		
	優良認定処理業者への処理委託量							
	再生利用業者への処理委託	1,211.73	1,715.89	110.48	7.36			
	認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
(これまでに実施した取組) ・動植物性残渣や廃プラスチック類についてはその種類・形態に応じて分別し、再生利用業者への委託や有価買取業者への売却に努めてきた。								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
<p>(これまでに実施した取組)</p>									
		【目標】						単位:t	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
<p>(今後実施する予定の取組)</p>									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(平成34年度)実績】						単位:t	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず			
		全処理委託量	1,211.73	1,715.89	110.48	7.36	0.09		
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託	1,211.73	1,715.89	110.48	7.36				
	認定熱回収業者への処理委託								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物性残渣や廃プラスチック類についてはその種類・形態に応じて分別し、再生利用業者への委託や有価買取業者への売却に努めてきた。</li> </ul>									